

福祉環境委員会記録

令和5年3月15日（金）
14時52分～15時46分
第2委員会室

【委員】小川委員長、村木副委員長
村武委員、柳楽委員、岡本委員、川神委員

【議長・委員外議員】

【事務局】中谷書記

議題

- 1 行政視察レポートについて（委員間で協議）
- 2 その他

【議事の経過】

(開 議 14時 52分)

小川委員長

ただいまから福祉環境委員会を開催する。出席委員は6名で定足数に達している。それではレジュメに沿って進める。

1. 行政視察レポートについて（委員間で協議）

小川委員長

タブレットに配信しているレポートは、皆の報告書を基に足立前副委員長が作成された。自分もつくりかけていたものと併せ、目的や委員会としてのコンセプトなど加えて視察先を選定した理由につなげている。また総社市については、市役所のほかにハローワークの就労支援ルームも加えた。

委員の所感は、基本的には行政視察報告書に詳しく書いているので、簡略化し、最終日の全員協議会での報告でも所管は触れなくてもよいかと思っている。最後の考察は、皆さんから出された所管を中心にまとめているので、そこについては報告し、全体の今後の取組につなげていきたいということで締めくくりたい。

最終日には3常任委員会がそれぞれ視察の報告をするので長い時間は取れないと思う。気になる点があれば意見をいただき、修正したい。

岡本委員

これからはこのような形で報告書をつくるのかと重く感じた。

それぞれの所感や考え方は載せられ、全体の考察もあるのでこの報告書でよいのではないか。今後、このようにつくるのなら負担を感じる。

柳楽委員

総社市の7.委員の所感は行数が多く詰まっているので読みにくいのではないか。所感は報告書にあるので少し削り、間をあけて読みやすくしたほうがよい。

小川委員長

写真を取ればもう少し余裕が出るが、あれば差し替える。このようなところでよいか。所感の削る部分もこちらで。

(「はい」という声あり)

では5分程度にまとめてになるかと思うが、報告する。

2 その他

小川委員長

その他で何かあるか。

村武委員

広報広聴委員会から。地域井戸端会のテーマについて、福祉環境委員会からは健康についてを上げたが、委員長から大まかなのもう少し皆さんから意見が出やすいようなテーマを考えてほしいと言われた。ちなみに総務文教委員会は、子どもたちと地域のかかわりについて、産業建設委員会は、農業・林業・漁業の問題点と希望について。例えば、健康増進の課題についてとか、以前、医療についての意見もあったので、地域医療と健康増進の課題に

ついて、などにしてはどうかと考えたが、可能であれば再考してほしい。

小川委員長

前回の委員会で議論し、コロナのことや健康寿命の延伸などもあったが、健康であればみな共通する課題であるしということを決めた。他の委員会と比べるとおおざっぱと言われればそういう面もあるが、何か意見があるか。

岡本委員

健康増進という大きなくくりが投げかけやすいと思っている。そこから波及して通院のことなど意見が出やすいのでは。今ののでよい。

広報広聴は、常任委員会から出たテーマで分担する、その形はどのようなものか。

村武委員

その時の参加人数にもよるが、基本的には3グループに分かれ、それぞれの委員会ごとにテーマに沿って話をさせていただく。

柳楽委員

あまり限定すると出しにくいか。

岡本委員

地域の課題で、高齢者などは健康であろうと思う。幅が広く投げかけても意見が出やすい。

川神委員

もう少し絞るなら年齢によっては介護とか。医療受診とか。医療の供給体制に対する不安などの課題もある。

柳楽委員

医療になると、病院に行くことが難しいのだという話が出てくる。そうすると福祉とは違ってくるのかと思う。

岡本委員

広報広聴の担当が地域に行って、どのように挨拶して投げかけるかによって方向がある程度決まってくるのでは。地域にどういう悩みがあるのか。それなら広報広聴でのある程度の作為があってもよいと思う。

村武委員

広報広聴の作為はないが、班ごとに担当するまちづくりセンターに伺って調整するくらいではないか。広報広聴の委員が各会場で事前にこういうことをしたいのではというのではない。当日も広報広聴の委員だけでなく、班で担当を決めて。

柳楽委員

私が確認していたのは、各班で各常任委員会から1人ずついるので、委員会ごとに決めたテーマで福祉環境委員会委員はその委員会のテーマでそのグループの中で話を進めると聞いている。

岡本委員

ではそのグループで私から投げかけてもよいのか。

村木委員

岡本委員がテーブルの進行役になる。

岡本委員

この委員会内でも、委員によって回答できる範囲は違う。健康についてでよいと思う。

村武委員

当日の参加者の様子によって進行も違ってくる。健康にしておいて、あとは委員に任せて進めていけばよい。あまり狭めるとそぐわない場合があるかもしれない。

岡本委員

地域が抱える問題点を把握するのは議員として大切である。解決しに行くのではなく意見収集のつもりで行けばよい。

川神委員

入り口が何であれ、話がどう進むかはわからない。

岡本委員

地域の意見が聞けるチャンスと捉えて、たくさん意見が出るように促したい。

- 村武委員 今日は委員間で方向性が共有できたので進めやすくなったと思う。健康についてでよいか。
- 小川委員長 健康増進と医療についてではどうか。
- 岡本委員 進め方による。
- 柳楽委員 今話が出たようなものを紹介したら、そこから話が始まるかもしれない。
- 小川委員長 このテーマについて話す時間は実質40分程度しかない。
- 柳楽委員 議会の現状報告を委員会ごとにするのとあるが、その内容は行った議員が決めるのか、伝える内容を委員会内で共有しておくのか。
- 岡本委員 同じことが言えるよう最低限伝える内容をまとめてほしい。
- 小川委員長 各会場で同じ説明をしたほうがよい。
- 村木委員 ちょうど次の議会だよりが出る時期と開催時期が重なる。
- 岡本委員 議会だよりの内容とマッチする説明なら、受ける側もわかりやすい。報告なのか、意見交換が重要なのか。
- 小川委員長 広聴機能の強化なので、いろいろな意見をいただく。各委員が、先ほど話したことを認識した上で、テーマは健康についてのままでよいか。
- 村武委員 委員内で認識を共有したということで。
(「はい」という声あり)
- 小川委員長 ほかに、取組課題の今後の方向について。来週からレントなどと意見交換するが、そのまとめも必要ではないか。既に終えた教育機関も含めてどういったまとめ方にするか。提言や要望書になるか、考察したことの報告までになるか、また皆と相談したい。11月までにある程度まとめなくてはと思う。事業所への訪問日程も決めていない。4月に委員会を開き、事業所の選定やこれまでのまとめをし、方向性を検討したいが。
- 柳楽委員 4月のうちに意見交換をし、ある程度の方向性を考えていかないと、5月、6月に議会報告会が入るとなると日程が取りにくい。
- 小川委員長 事業者とも日程調整して。4月の初めくらいに委員会を開いたほうがよいだろうか。
- 岡本委員 相手をリストアップできれば事業者との交渉は協力する。
- 村武委員 企業はリストアップしていたか。
- 中谷書記 ヒアリングシートを作成する際に幾つか上がっている。
- 岡本委員 事業所から何を引き出すか。雇用する企業側のメリット、デメリット。例えば養護学校を卒業した後に受け入れられる環境が浜田で整備されているのか。また雇う側も、雇用し続けられる環境があるのか。そういったところに補助がいるのではないかなどを調査し、就業という着地点に合うようにリストアップしたらよい。養護学校などとかかわりのある企業であれば受け入れがしやすいのでは。正副委員長に絞り込んでもらえるか。
- 小川委員長 それらを含め、4月のうちに意見交換するとなると4月の初めに開くか。

《 以下、訪問先協議 》

岡本委員
村武委員

養護学校から情報収集してこようか。

障がい者雇用に関する表彰制度もあったはず。受賞している企業から選んでもよい。

小川委員長

選定の作業を進めつつ、4月の早いうちに委員会を開いて話を詰め、5月中には意見交換が済ませられるとよい。

《 以下、日程調整 》

小川委員長

レントとシップスとの意見交換の報告は、6日木曜日の正午までに提出してほしい。次回委員会は11日の10時から開催する。

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

では、福祉環境委員会を終了する。

(閉 議 15 時 46 分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員長 小川 稔宏